

2025 年 6 月社長会見



2025 年 6 月 13 日

1. 営業・輸送概況

2. 荷物輸送サービスの拡大について (サービス名称の策定及び緊急輸送サービス)

詳細

ご挨拶

まずもって、6月5日に発表させていただきました「2023—2024年度 安全管理体制 第三者評価報告書」に関しまして、申し上げたいと思います。

既にご説明申し上げておりますとおり、この報告書におきまして、「改善が望まれる事項」の中に「組織の心理的安全性に関する懸念の声を確認した」、特に「定常業務では心理的安全性が確保されている場合でも、非定常時（異常時を含む）等において心理的安全性が低下し適切なコミュニケーションがとれないリスクがあることが確認された」とのご指摘をいただいております。

ここでご指摘いただいた内容も含め、パワハラにあたるような発言を役員が行ったことにつきまして、役員を代表して改めて心からお詫びを申し上げます。

また、私、長谷川といたしましても対策本部の場におきまして、厳しい口調で発言を行ったことにつきまして、その場にいた社員の方を委縮をさせてしまったということで、大変申し訳なく思っています。関係の皆さま方、とりわけそうした社員の皆さまにはこの場をお借りしまして改めてお詫び申し上げたいと思います。

今回の第三者評価報告書の指摘を真摯に受け止め、引き続き、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027に掲げております「心理的に安全なチームづくり」というテーマの内容の取り組みを推進いたしまして、組織全体のコミュニケーションの向上に努めていく所存です。

1. 営業・輸送概況

【運輸取扱収入（速報値）】

収入ですが、5月は前年比で107.8%、6月は7日までで107.2%です。

運輸取扱収入（速報値）

	前年同环比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
5月	107.8%	108.1%	109.4%	101.1%
6月 (6/1~7)	107.2%	111.1%	109.4%	95.5%

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。

【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

次に、ご利用状況ですが、山陽新幹線は、5月が前年比で108%、6月が7日までで111%、近畿圏は、5月が103%、6月が7日までで105%となっております。

5月は新幹線・在来線ともに多くのお客様にご利用いただいております。万博の入場者数の増加による効果も一定あると考えております。引き続き、多くのお客様に安心してご利用いただけるように、取り組んでまいります。

新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同日比				
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏	
				近距離券発売枚数	自動改札通過人員
5月	108%	108%	113%	106%	103%
6月（6/1～7）	111%	108%	115%	110%	105%

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績と自動改札通過人員の前年同日比を併記しています。

2. 荷物輸送事業のサービス拡大について

次に、荷物輸送事業のサービス拡大につきましてお知らせさせていただきます。

荷物輸送事業のサービス拡大



荷物輸送事業の目的とこれまでの取り組み

【中期経営計画2025】

「新たな事業の創出」・「サステナビリティ経営に向けた取り組み」

【これまで展開してきた荷物輸送サービス】

- 新幹線や在来線特急の空きスペースを活用した、定期・スポット輸送を実施
- 特に西日本エリアの地域産品について、「FRESH WEST」としてブランド化し、販路拡大や地域情報の発信を実施



**企業・地域との共創価値の実現
地域活性化への貢献**

当社は、「中期経営計画2025」におきまして「新たな事業の創出」及び「サステナビリティ経営に向けた取り組み」を掲げまして、「企業・地域との共創価値（共に創りあげる価値）の実現」や「地域活性化への貢献」を目的に新幹線や在来線特急列車の空きスペースを活用した荷物輸送サービスを展開しているところです。

特に、西日本エリアの地域産品につきましては、旅客列車を活用いたしまして、即日お届けする商品を「FRESH WEST」とブランド化いたしまして、地域産品の販路拡大や地域情報の発信に取り組んでまいりました。

荷物輸送サービス全体の名称

輸送品目の多様化などを踏まえ、荷物輸送サービスの名称を新たに策定

7月1日 START!

新名称：「荷もっシュッ！」



- 「荷物」を「シュッ！」と運ぶ意味を込め策定
- 列車輸送の速達性・利便性を追求した高品質な荷物輸送サービスを表現

この取り組みを拡大する中で、輸送品目の多様化が進んできたことを踏まえまして、この7月1日より当社の展開する荷物輸送サービス全体の名称を「荷もっシュッ！」という名前をつけまして、サービス展開をさせていただきます。

この名称は、「荷物」を「シュッと」運ぶという意味を込められておりまして、列車輸送の速達性と利便性を表現しているということです。

また、サービス名の新設に合わせまして、当日に受付をして即日配達する、その日のうちに配達するという緊急輸送サービス「荷もっシュッ！Quick」という法人向けのサービスも開始いたします。

荷物輸送事業のサービス拡大

緊急輸送サービスの概要

●サービス名称

「荷もっシュッ！Quick」

●サービス開始日 2025年7月1日

●輸送イメージ

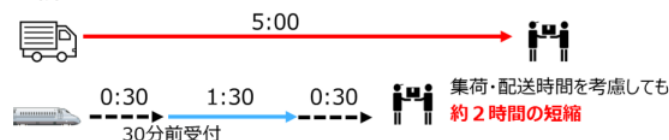


●利用料金（基本・税抜き）

新大阪⇄広島	広島⇄博多	新大阪⇄博多
37,000円	30,000円	67,000円

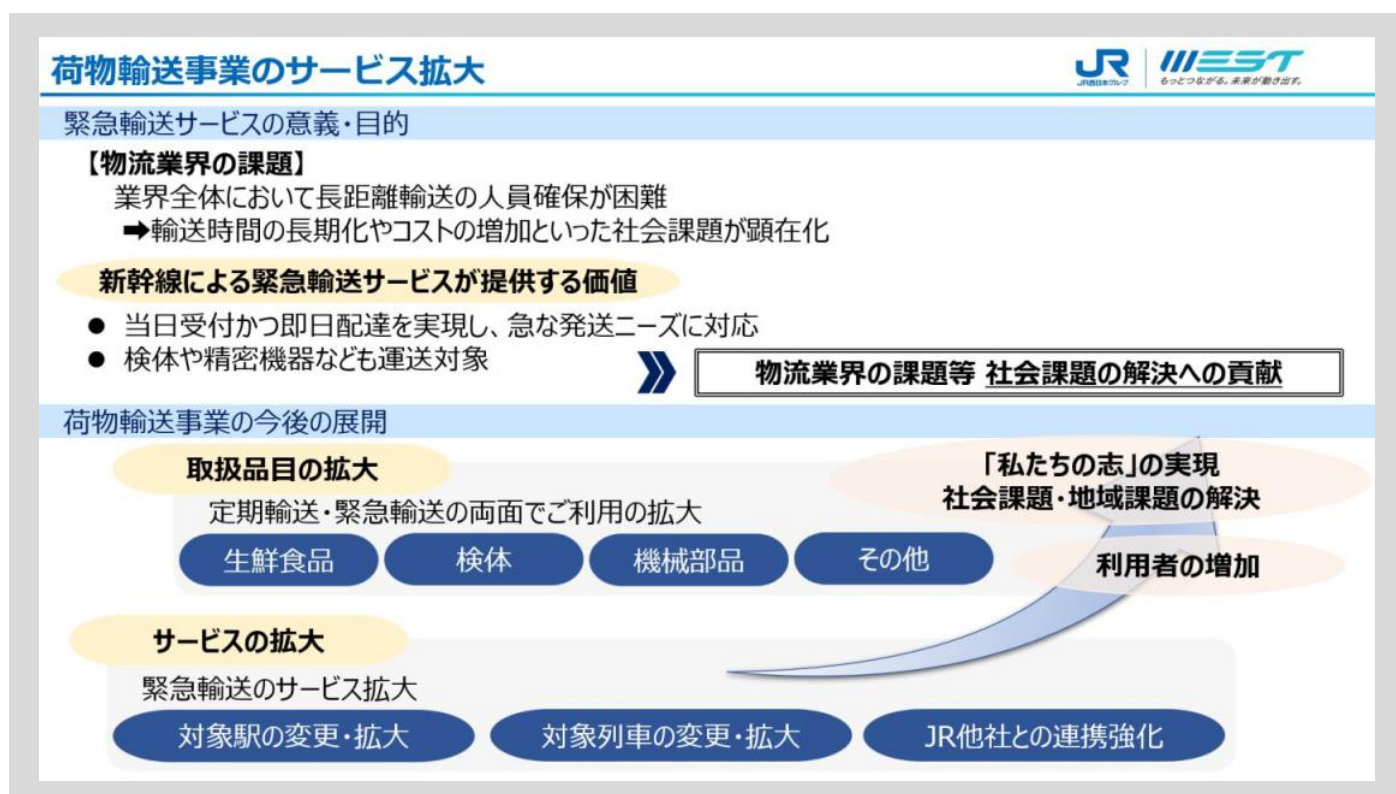
※利用頻度・利用列車等により料金は異なります
※集荷・配送は別途オプション料金となります
※緊急輸送は、1列車5箱までの積込みとなります（5箱まで均一料金）

●新大阪～広島の輸送イメージ



このサービスは、新大阪・広島・博多駅間で「みずほ号」や「さくら号」を活用して提供させていただきます。対象駅には専門の係員が常駐いたしまして、日中の時間帯に列車発前の30分前までのご注文をいただけるようになります。即日配達が可能なこのサービスによりまして、急な発送ニーズというものに対応できるのではないかと考えています。

料金につきましても、緊急輸送においてトラックをチャーターしているお客様が、この新幹線輸送に切り替えていただきやすい設定とさせていただきます。



昨今、長距離輸送の人員確保が困難となり、いわゆる2024年問題と言われているものであります。そういった事柄、そして輸送時間の長期化や輸送コストの増加といった社会的課題が顕在化しているところです。

そこで、これまで必要であった事前申し込みなしでの当日受付を可能として、検体、医学用の検体や精密機器なども輸送することで、これらの社会課題に対応していきたいと思っております。

今後、荷物輸送サービス「荷もっシュッ！」をより便利にご利用いただけるように、取扱品目の拡大ですとか対象駅および列車の拡大に向けまして、JR他社さんとの連携も深めていきたいと思っております。これにより、収益規模としては、まずは数十億円規模というものを目指して取り組んでいきたいと思っております。

そして、全国規模の荷物輸送ネットワークの形成に貢献いたしまして、物流業界全体として抱えております社会的課題の解決に少しでも寄与していくとともに、持続可能で活力ある未来創りを様々なパートナーの方と創りあげていければと考えているところです。

ご挨拶

さて、本日が私、社長としての最後の会見となりますので、一言御礼のご挨拶をさせていただきたいと思っております。

これまで、毎月の会見では当社グループの取り組みをお伝えさせていただきましたが、皆さま方からは多くのご意見・ご質問を頂戴して、それを経営に反映するというようなこととしてきておりましたし、多くの

情報を社会にお伝えいただけただけということで大変心より感謝申し上げたいと思います。

2019年12月から社長就任させていただきましたが、その直後からコロナ禍が始まり、未曾有の経営危機と同時に、10年単位で進んでいくであろうと思われていた社会・経済の変化が一気に訪れる中で、経営の立て直しと将来の成長への種まきに向け、深く悩みながら進んできた5年であった、というのが偽らざる思いです。

この間多くのステークホルダーの皆様方にご支援いただき、先般の2024年度決算をもってようやくコロナ禍の影響をほぼ克服するところまでになりました。改めて深く感謝申し上げます。とりわけこの間、公共輸送としての鉄道を中心とした輸送サービスを支え、そういったサービス提供、安全の向上ということに取り組んでくれましたJRグループ社員の皆さん方にこの場をお借りしまして、感謝をお伝えしたいと思います。すべての皆さま方に深く感謝を申し上げ、私の退任のご挨拶にさせていただければと思います。私からは以上です。